

2024

令和6年7月12日

第21号

(通算126号)

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology

# IT短大VIEW!

2026年、県立短大は「大学校」に変わります。



## 1 楽しくプログラムが学べた!

7月9日(火)から11日(木)まで、県立勝田中等教育学校で出前授業「ロボットプログラミング」を行いました。

これは本校との高大連携事業の一環で実施されたもので、4年生を対象としました。授業では、本校の榎引先生が説明し、落合先生と光石先生がサポートする三人体制で臨みました。

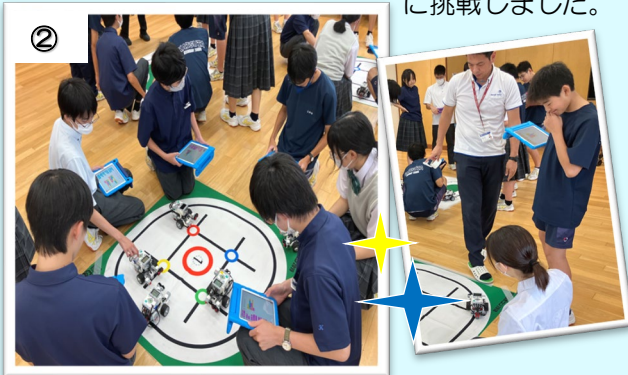
最初は緊張していた生徒も、プログラムで変わるロボットの動きに笑顔となっていました。次の三つのプロセスで進みました。

①ロボットの操作方法とプログラミングの説明。



①

②課題「ロボットを黒い線で止めるプログラム作成」に挑戦しました。



②

③課題「ロボットを黒い線に沿って走行するプログラム作成」では、ロボットが黒い線を左右に揺れながらトレースしていました。



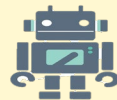
③

ーグローカールくん(勝田中等教育学校マスコット)

## 2 参加した生徒の感想

※ 参加した4年生の一部の感想をご紹介します。

●ITは情報だけでなくプログラミングも含まれていて、日常生活について考えながら楽しく学べるものなのだと思います。また、**プログラミング**を試行錯誤しながら車の速度などを変えるのが楽しく、興味を持った。



●普段の技術の授業内での活動や、個人での学習だけでは学びきれない、プログラミングの細かい動作の確認や、一つ一つのプログラムでモーターがどのような動きをするのかを丁寧に説明して下さったので、**曖昧だったところも理解が深まった。**

●**授業の雰囲気明るくて、終始楽しかったです。**今までプログラミングに対して難しいので苦手意識があったが、今回の授業を通して少し興味が湧いてきました。プログラミングができるようになりたいと思いました。

●**とても楽しくプログラミングを学べた。**授業でロボットを動かす時には、なぜこのように動くのか、なぜモーターが必要なのかが分からなかったが、今回の特別授業を受けてそれらの仕組みを理解することができたので嬉しかった。

**プログラミングに少し興味が出てきたので自分からプログラミングにチャレンジしたいと思うようになった。**



●**ただゲームなどのプログラムを組むときは違い、センサーについてのプログラムがあって、物珍しく面白かった。**

**プログラムの数値を変えていくことにより動きを速くすることができることは知っていたけれど、動きを滑らかにする事もできるのだと知り驚いた。他**

ITから創造した未来へ